

第3回 早島町振興計画審議会 意見要旨

開催日時	令和3年3月24日（水曜日） 13時30分から15時40分まで
場 所	早島町町民総合会館「ゆるびの舎」2階研修室
次 第	<ol style="list-style-type: none"> 1. 副町長挨拶 2. 審議会の成立報告について 3. （報告）第2回審議会のご意見について 4. （報告）第5次早島町総合計画基本構想骨子案について 5. 意見交換
出席者 （委員）	<p>【学識経験者】（敬称略）</p> <p>秋山 松男（公募委員）</p> <p>◎阿部 宏史（環太平洋大学副学長）</p> <p>石井 謙次（岡山県 備中県民局地域づくり推進課 課長）</p> <p>○金子 雅彦（岡山県公安委員会 委員長）</p> <p>日下 知章（山陽新聞社 常務取締役 倉敷本社代表）</p> <p>斎藤 誠人（公益社団法人 岡山県宅地建物取引業協会）</p> <p>佐々木 美智子（公募委員）</p> <p>佐藤 周二（公募委員）</p> <p>佐藤 均（つくば商工会 会長）</p> <p>立間 教子（早島町社会教育委員）</p> <p>徳田 恭子（特定非営利活動法人まちづくり推進機構岡山 代表理事）</p> <p>原田 英和（中国銀行早島支店 支店長）</p> <p>藪木 伸一（早島町老人クラブ連合会 会長）</p> <p>【町議会議員】（敬称略）</p> <p>根木 一（町議会代表）</p> <p>平岡 守（同上）</p> <p>真鍋 和崇（同上）</p> <p>（◎会長 ○副会長）</p>
出席者 （早島町）	<p>山本副町長</p> <p>まちづくり企画課 安原課長 下井課長補佐 松下係長</p>

発言の概要

- (1. 副町長挨拶)
- (2. 審議会の成立報告について)
- (3. (報告) 第2回審議会のご意見について)

【事務局による資料説明】

会長 ありがとうございます。委員の皆様方から何かご質問等ございますでしょうか。ご質問がございましたら挙手をお願いします。

 いかがでしょうか。特にございませんでしょうか。ご意見がないようでしたら事務局からの対応方針について、審議会として異議はないということで集約したいと思いますと思いますがよろしいでしょうか。

 それでは、ただいまの事務局説明の対応は適切であると判断します。

- (4. (報告) 改訂第4次早島町総合計画の効果検証について)

【事務局による資料説明】

- (5. 意見交換)

会長 それでは、事務局から説明がありました骨子案について、委員の皆様からご意見をいただきたいと思います。

委員 別紙4の補足資料でありました第4次総合計画の評価結果について、基本目標1から5まであり、庁内の評価では71点、町外の評価では65点となっており、アンケートによると早島町に住み続けたいという方は93%おられるということで、ほとんどの方が早島は住みやすいよということだと思います。町外評価では平均点が65点となっており、合格点ということだと思いますが、この中で基本目標1の庁内評価が約52.9点に対して町外評価は61.6点となっていますが、庁内の評価が52点というのは、どういうところが足りないということになっていて、それを5次総合計画の基本目標1のどういう項目で評価するようになっているのかお聞きしたいのですがいかがでしょうか。

事務局 基本目標1の庁内評価が低くなっている理由については、把握できない指標が4つありましたことと、第2回審議会資料でもありました日常品を扱う店舗数

や空き家バンク物件登録数などの指標の評価がよくなかったということになっています。基本目標1に△や×がついている指標については、現在、基本計画を各課で新しいものを策定しているのですが、これら△や×のついた事業についてどう取り組んでいくかというのを考えていて、例えばごみの排出量や二酸化炭素排出量については、総数を目標値として設定しているというのがあり、これを1人あたりや面積あたりにすると評価はいい評価となるものであったので指標の考え方を見直す必要があるものもあると考えています。また、空き家バンク物件登録数などは、取り組みがあまり積極的にできていないものもあったので、そうしたものは取り組みを進めていく必要があると考えます。具体的な回答を個別にできない段階ですが、このように考えております。

委員 最終ページの項目のどの項目にあたるかはわかりませんか。第4次の評価結果に基づいて、第5次の目標を強化した項目があると思います。

事務局 最終ページについては、前ページの施策体系に基づいて入れ替えをしているので、こちらについては、特段関連性はないものとなっています。

委員 ということは、第4次の評価結果を第5次の目標に反映しなくていいということになるのでしょうか。

事務局 入れ替えについては、関連性はないのですが、先ほどの指標が芳しくなかったものについては、11番17番などに入っておりまして、基本計画策定の際にはそれらを鑑みて新しい計画を策定していくこととしており、次回もしくはその次の審議会でご説明することになると思います。

会長 次回の審議会に反映されると考えてよろしいですね。委員からのご指摘は重要だと思いますので、事務局で整理をしていただくようお願いします。

委員 委員からご質問のあった点については、18ページの基本目標の1から5までで右側が新しいもので、左側が第4次のものとなっていて、左側の基本目標1となっているものは基本目標2になって、ほとんど取り組まれているという答えになるのではないのでしょうか。委員のご質問にあった中で、非常にひっかかったとか心配であったというものは基本目標11や15については、基本目標2というものに姿を変えて、重点的な課題に取り組もうとしています、というような答えになるのではないのでしょうか。ですから、色のついている最後のページの番号については、基本目標1というものの中に2の課題が取込まれていて、基本

目標2では1が取り組まれていて、基本目標3では4が取り組まれていて、基本目標4では3が取り組まれていて、このように読み替えれば、解釈が成り立つのではないかと思います。そういう意味で番号は変わったがつながっており、重点的な問題を残して取り組もうとしている、という回答になると思います。

事務局 委員の質問を勘違いしておりまして、まさに委員のおっしゃるとおりです。ありがとうございます。

委員 私は倉敷市の第7次総合計画に携わらせていただいたのですが、最初に第6次の冊子を見たときに構成が悪く、ぱっと見た人が非常にわかりづらいものでした。今回の資料を見たときに、途中のたたき台なので仕方ないかもしれませんが、順列整っている資料作りから始めたほうが、前に行ったり後ろに行ったりすることがあったので、そこが整理されていない。18ページの番号付けなど最適化がされているとは思いますが、わかりにくいので、充実させていただきたいと思います。ちなみに倉敷の7次はスタートから終わりまで流れるように見やすく作られておりましたので、重点的に取り組んでいただけたらと思います。

委員 早島町の統計のグラフですが、表によって最新年度が異なっているものもありますが、グラフに反映されるのかどうかを教えていただけたらと思います。

事務局 これらの統計資料につきましては、最終的には全て時点修正して最新のものをグラフに載せていきたいと考えています。グラフにしていなかったのは、第一回審議会でご説明した内容で載せたいということであえて枠外に記載しましたが、最終的にはデータを修正して公開するように考えております。

委員 人口問題研究所の人口推計が減るといわれている中で早島町は人口が伸びており、ここをもっと町民にわかるように、あなたの住んでいる大好きな早島町は、いい人が住んでいるから人口が増えていくという、岡山県でもトップクラスの人口が増えている町として、ぱっと光るようなものとしてどこかに書けないものかと考えており、普通の統計の図表というのではなく特記できないかと感じています。

会長 人口増の傾向について、もう少し材料を踏み込んだ形で強調できないかということでした。ただ、早島町は立地条件が恵まれたところにありますので、そこに踏み込んでいくことは町の良さを強調していくことにつながっていくかどうかというところは疑問なところがありますので慎重に扱っていただきました。

いと思います。

委員 17ページの基本方針の中で①の「遠くから見ると一体に見える」「近寄ると際立って見えるまち」というのは素晴らしく、外から見た現状がよく表れていると思いました。それと質問ですが12ページの上の改訂第4次総合計画の体系の赤字のところですが、「町自体の優位性や企業・事業者に頼る面が大きく受益者の声が反映されにくく行政もなかなか手を出しにくい」というのが基本目標1のところにあるのですが、この考え方でいくと15ページの基本目標2の真ん中に「日用品に加え、早島でしか買えない商品を扱う店が町外からも客を集めて賑わっています」というのがあり、これは非常に重要で大きな魅力となりますが、例えばチャンネルショップの環境整備などを町の施策としてうっていくことが前提となるとと思いますが、そこまでのお考えがあるのかというところをお聞かせいただければと思います。

事務局 別紙2の裏面の27番になりますが、「スーパーやコンビニの出店は難しいかもしれませんが、小さくて魅力のあるショップや飲食店はもっと進出しやすい地盤が必要かもしれません。つくば商工会とも連携しつつ、町としての商業活性化の方向は示していけるとよいと思います」と回答しておりまして、基本計画で施策づけていきたいとは考えていますが、具体的にこんなことを考えているというのは言えない状況です。

会長 早島として、交流人口が増えるような、要するに外から早島にやってくる人に特色のあるものが早島から提供できているかと捉えられるのではないのでしょうか。ゆるびの舎のスタインウェイピアノがあるなど、町外の方が早島に対してはっと思うようなものがあるかどうか、日用品以外にそうしたものが早島で提供できているかと捉えられるのではないのでしょうか。条件的に町外から居住地として転入する人が多いというのがあるのですが、日常的な交流でみた場合どうかというように捉えられるのではないのでしょうか。

委員 会長のご意見の答えになっているかどうかわかりませんが、町民という立場でどこに魅力があるか、早島のいいところは何かというのをそれなりに考えており、早島は約13,000人規模で、全県的にみれば面積も小さいし、人口も少ないが、人口が増加傾向にあるのが早島と総社となっていて、早島は総社のような面積も人口もないので、身の丈に合った文化や暮らしやすさを探していくことと、限られた予算の中で人が増えていくことに対しては、早島は中学生までが医療費が無料となっており、周辺の地域から転入する大きなトリガーとなっていますが、その世代の人が小中学校の学齢期を過ぎても、早島町に住んで岡山県の中で早島に住んでいることに意味があると感じさせるようなまちをつくっていくというのが身の丈に合った地道な活動ではないかと

思っています。早島は何が魅力なのかということとスタインウェイピアノがあり、500人規模のホールがあるというのは、先見の明があると思っていますが、稼働率は決して高くないと思います。極論すれば音楽のジャンルに高尚とか低俗はないので、例えばピアノをジャズと組み合わせるとハイソサエティなイメージがあり、三味線や尺八などの和楽器とスタインウェイピアノを組み合わせるとコンサートをやってみるなど、どういう使われ方をしてもよいと思っていて、高名なプロでなくても町民や周辺地域の人、県北の人など参加しやすいような「スタインウェイを活用しよう」というようなキャッチフレーズでやるのもよいと思います。こうした話はこの委員会で議論する話ではなくて専門部会で議論すればよいとは思いますが、そのような検討をしてみてはどうかと思います。また、町の北側に2つの大きな池がありますが、池と言いますと親水公園で有名な散歩をされる池をイメージされると思いますが、北にあるもう一つの池には驚くほど鳥の種類が豊富で蛍がいる池があり、これをひとつの売りにしてもよいと思っています。都市部に近い県南にありながら自然環境も残っているということはどう活かしていくかという視点から考えていくと早島らしさを出せるのではないかと思います。生活に近いところから考えるとこの2つが具体的な話かと思いますが、計画の中に具体的に鳥のたくさんいる池などということ的位置付ける必要はありませんが、そういう議論に結び付けるような種をまいておかないといけない。定性的なキャッチフレーズだけでは具体化することなくあつという間に5年間で過ぎてしまうので、何を具体的に議論しておくべきかということの方向性だけは盛り込んでいかなければならないと思います。

委員

全体としてこれまでの議論を踏まえて直していった創意工夫に感謝したいと思えますし、いい方向にまとまってきていると思えます。それを前提に質問させていただきたいと思えます。9ページの50戸連たんの説明が事務局からありましたが、先ほどの説明では何を言っているかわからないというのが正直なところで、50戸連たんでは何故課題になるのか、基盤の整った市街地がなぜ必要なかということについて考えていく必要があると思えます。例えば50戸連たんでは構造上、法律上の問題点として、旗竿状の行き止まり道路が出来てしまう、計画的な都市開発がなかなか行いにくい、都市基盤が整理されていないところに宅地開発が行われることによって、さまざまな都市基盤の整備が後手後手になってしまったことが課題としてあると思うのですが、50戸連たんの問題点、その上で新たな市街地の確保についてどのような展望を持っているのか、ということについて整理していく必要があると思えます。同じく9ページの生活環境についてですが、委員もおっしゃっていましたが、住宅に近接した地域に豊かな緑地が保全をされているという点については、早島町の財産として整理していったほうがよいのではないかと思います。振興計画審議会での意見を取り組む具体例として表記していくのであればそうしたことも表記していく必要があると思えます。次に10ページですが、逼迫しつつある体制の強化が必要です、ということで③に記載がありますが、例えば子育て施設について言いますと、保育園の表記がここではないのですが、保

育園の待機児童が来年度29人になる予定と聞いています。児童福祉法上では1人でも保育園の待機児童がでること自体が非常に逼迫しているという状況であると言っていると思いますが、逼迫しつつあるという表現にしたのはなぜなのか教えていただきたいと思います。私は逼迫している状況にあると思います。同じく振興計画審議会での意見を取り組む具体例として表記していくのであれば保育園の整備についても言及していく必要があるのかと思いました。それと13ページの図表17に一次評価と二次評価の差ということで、これは非常にわかりにくい。一次評価から二次評価で増えたのか減ったのかというのがここでは全くわからないので、プラスやマイナス、赤や黒で色を変えるとといったことを検討いただいたらいかがかと思います。次に14ページの推計人口は現実を踏まえた数字だと思いますが、目標数値でないということが今までにない総合計画の策定のカラーになってくるのかと思いますが、今後推計値を上回って人口が増える可能性もあるわけで、各課で個別計画を定めるにあたってふり幅のある議論が必要かと思います。13,400人を目指していけばいいというふうになりがちですが13,400人を目指していくのではなくて、13,400人が推計人口なので、それは当然クリアしていく数値で具体的な計画を定める必要があるということをお聞きしたいです。次に15ページの住宅の新設着工数を主要な達成指標にしていますが、既存の市街化区域内で住宅の新設着工数を伸ばすことはほぼ不可能に近く、新たな宅地開発を前提とした達成指標になってくるので、達成指標にふさわしいのかという議論は必要かと思いました。

事務局 9ページの50戸連たんについては、道路、公園、下水道などが特例として1戸ずつ建っていくものであり都市基盤が整わないというのが一番の弱点です。ただ、50戸連たんの制度が悪いのではなく、例えば30軒家が建てば本来なら公園が必要なところに公園がないといったことも起こり得るので、開発圧力がある時に転入を受け入れる受け皿となる市街化区域を役場や駅の周りに編入していきたいというのが一番でございます。

会長 この場で個々の内容について回答すると時間がきてしまうので、次回審議会での回答とさせていただきます、委員の皆様が事務局の説明に対して疑問に思った点をどうぞ言っていただけたらと思います。

委員 10ページ目ですが、委員さんも言われていましたが、子育て関係の施策は逼迫しつつあるなっていますが、今逼迫していますので、前々回とお伝えしていますが、保育環境やその引き続きで小学校に入って学童保育も重要視していかないといけないところですので、先進的な取り組みを支える教育体制の逼迫解消と大きく基本的なところは書かれているのですが、今後話をしていく中で具体的な案をだしていかないと子育て施策にはなっていないと思います。私も人口が早島町で増えてきていて、医療費無料も中学校までということ

にも魅力があり、利便性が高いということで引っ越してきた住民の一人で、子育てもして15年を経過しているのですが、子育てや仕事をしている人が増えていく中で子育て環境、具体的に保育園の待機児童については議員さんが解消の取り組みをしていて目に見えてわかるのですが、小学校と中学校が一つしかないので、教室も逼迫していてクラスもばんぱんで先生の受け皿も逼迫している。学童保育人数も多くなってきていて体制が整っていないという声は多く聞くので、人口が増えてきているということは今住んでいる人も増えているので、今住んでいる人の問題を解決しなければならず、早島町のこれからの10年後の魅力ある部分を謳っていくにはそういったところが必要だと思います。基本方針としておおまかなところはでているのだけど具体的にどうするのかというのが、誰が見てもわかる資料にしていけないといけないだろうし、満足度も上がってきているということですが、子育て世代としては子どもをのびのび育てたい、早島町には自然環境が残っているので自然の中で育てたいというのは親の気持ちとしては大きいと思うので、住み続けたい、住みたいが続くような活動やこういう話になって課題が明確化すればと思いますので、ぜひ、学童保育の見直しに力を入れていただきたいと思います。

会長 居住者の方の切なる要望だと思います。もう少し行政的な表現でなく、住んでいる人からもわかりやすいような表現が必要だと思います。

委員 私は町外の民間企業なので行政のスタンスと違うかもしれないので参考までに聞いていただければよいのですが、骨子を見させていただいて、もう少しデジタル化社会への対応を盛り込んでもよいのではと思います。Wi-Fiの整備や電子自治体といった表現は出てくるのですが、今、民間企業はデジタルトランスフォーメーションが一番の命題となっておりまして、AIであるとか5Gであるとかソサエティ5.0やIoTなどをどう取入れていくか必死でやっております。日本全体がデジタル化に遅れていて、台湾とか韓国に比べても非常に遅れているので、早島町だけの問題ではないのですが、何かそういうニュアンスが盛り込まれたらいいのではないかと思います。私は瀬戸内市民ですが、回覧板をなぜ電子版にしないのかと思っていまして、これだけデジタル化が進展しているわけですから、もっとうまく活用していくことを考えていただきたいと思います。

委員 15ページですが、町の具体像に「水害に強い町の基盤が整っています」とありますが、現実からしますと下水道の普及はほぼ100%となっていますが、一方で用排水路、これは農業用排水と兼用ですから集落排水や工場からの排水の対策は旧態依然として、非常にお粗末な現状であると言えます。特に防災面をみると、雨が集中的に降れば前潟筋一体は必ず浸かってしまうという現実があり、旧態依然として整備がほとんどなされていないということがあります。排水についても下流域の市町村との連携で一気に流せば児島湾まで流れるわ

けですが、そうしたテコ入れがあまりなされていないのではないかと感じており、排水対策が安全に住む場合の一番の肝でないかと考えておりました、現状の問題点を踏まえる中で加えていただきたいと思えます。

委員

基本目標2に「日用品に加え、早島でしか買えない商品を扱う店が町外からも客を集めて賑わっています」ということをここに謳っていますが、そうすると当然のことに昼間人口が早島に流入してくることになると思えます。これだけで早島町に町外から流入してくることは難しいと思ひまして、商業の中でできるのであれば、歩いて買い物ができ、歩いて暮らせるまちづくりをするためと、それから町外から来ていただくには飲食店が必要だと思ひます。そうした飲食店の兆しが全くないのでそれは必要があるのかなと考えております。そうした点を踏まえた上で、魅力ある暮らしを支えるまちというものは必要と考えています。もう一つ委員が言われていましたが、早島では自然が残って鳥もたくさんいるということですが、早島の大谷池にはたくさん鳥がおり、大谷池がやり方によっては町外から休日にはお客さんをお呼べるような環境ができるのではと思ひており、大谷池にボートを浮かべれば周辺の森が北海道に似た風景で、非常に素晴らしいと感じており、そうしたことを踏まえ何か施策にいれることができないかと思ひました。

会長

「ALKARE 早島」などのように情報発信により人を呼び込むことが重要と思ひます。

委員

社会教育委員会でも具体的なことをいろいろと話をしており、社会教育委員会だけではなく早島学園、運営協議会でも具体的な話をしておりますので、具体的なものが必要であれば生涯学習課などと連携して資料を作っていたいただいてもっと詳しいこともわかると思ひますので、ぜひお願いしたいと思ひました。

会長

他の部局に対するヒアリングなどの連携をお願いします。

委員

基本目標1から5とありますが、第5次総合計画では第4次総合計画と順番を変えておひまして、最初の基本目標1が第一順位かと思ひますが、順番が変わった背景をお伺ひしたいのと、今後のことにはなるかもしれませんが、第5次総合計画の目指すべき将来像を決められているのであれば教えていただきたいと思ひます。また、持続可能な開発目標ということでSDGsの話もあると思ひますが、それにかからめて見せ方としてマークを入れるなどの工夫をしてもいいかと思ひました。

事務局 基本目標の組み替えですが、12ページで説明させていただきました従前の基本目標1があり、それを達成するために基本目標2の基盤整備がありました。そして、質を上げるために基本目標3、基本目標4など役場がしないといけないものがあり、一方通行となっていました。そうしたものを今回は有機的に結び付けようではないかということで、何が一番というのはないのですが、すわりがよかったため基盤整備を1番にもってきました。基盤整備をして皆さんによりよい生活環境で生活していただく、そういった中で福祉も取り組みます、福祉には高齢者から子育てまであります、次に教育を考えますと、この子育てを結びつける学校教育となり、そして次世代の人の教育となり、生涯ずっと勉強していただくということで社会教育となり、そこで培ったものを地域の自治会などで還元する、役場とともに地域自治に取り組み、役場はしっかり行政運営をやっていく、そうすることでまた基盤整備ができるといったことで、ぐるぐる回していくことがいいのではないかと、ということです。基本目標1が1丁目1番地であるとかそういったことではございません。すわりがよかったので基盤整備から始めさせていただいているところでございます。

会長 質問ですが、それぞれが結びついて循環的な関係であることはわかるのですが、図は平面的なものとなっています。これは、上に総合的な評価の視点があって、スパイラルで上がっていくというイメージでよろしいでしょうか。そうすると下の基本目標の5から始まって1に上がっていくというものがわからないのですがどうでしょうか。

事務局 こちらは改訂第4次総合計画のものとなっております、一方通行であったというものになります。次の将来の目指すべき姿ですが、これについては現在、庁舎内で検討しているところであります。また、SDGsにつきましては、行政で全てできるものではありませんが、それぞれのステークホルダーがいろいろな分野に取り組んでいくのだと思います。そうした中、早島町でできることにしっかり取り組んでいき、SDGsの1から17までを落とし込んでいけたらと考えております。

委員 委員の仕上がりイメージは倉敷の7次総になると思います。倉敷市、岡山市、総社市のいい面を参考にされたら、非常にまとまり感はでてくると思います。

会長 実は私も岡山市の総合計画の委員長をしており、まとめているところです。他市のものを参考にするのはいいのですが、岡山市と倉敷市に挟まれた早島町としての特徴、特性がありますので、その部分を十分に理解した上でやっていただけたらと思います。

委員

先ほどの議論に関係することですが、先ほど人口が増えていく中で保育園の問題は喫緊の課題であり、小学校、中学校のキャパが足りないというのは保育園で起こっている問題がそのままスライドしていくわけですから、箱に対して児童が多くなるということは間違いない。町内に小学校や中学校を2校つくるということはとんでもない議論になってしまうので、1校だとかあるいは小中一貫で教育をしていくことなどの議論があるのでしょうかけれども、そうした中でやらなければならないのは、13,400人の人口構成比で考えた時の箱を造らないといけないという認識を町で持ち、意識を共有化する必要があります。箱をつくるにはそれなりの予算が必要で、予算の制約を考えたときに税金で収まらないのであれば、極論すると新しい校舎をつくるのはもってのほかで15年間はプレハブでいくということも一つの考えだと思います。そういうことも含めて、ある程度代表となる人たちが議論をできる場を提供しなければならないと思います。また、県北の山間部のように早島町もいずれ人口は減っていくとなると間違いなくつくっていった箱物は余る時代がきます。その時にそうした箱物を生涯学習や社会教育の場に活かしていくなど具体例としてこういった活用方法がありますといったことを書いていくなどそれを含めた上での箱物をつくるべき認識の共有と少なくともそれに対する町民との認識が共有できた上で皆が議論できる環境を作っていくための計画にしていく必要があると思います。もう1点は、大きく変わるのはバイパスを立体化していく話です。交通量の増加にはずっと悩んでおり、日本の一番の問題点でもありますが、アメリカとの比較でもわかるように立体交差していないというのは日本の致命的な問題ですから、これを岡山で解決していくということは重要なことで、これができれば早島町の交通は安全面でどうなるのかということもありまして、今既に小学校の児童のところにバイパスに抜けてくる車が増えています。幸いにして悲惨な事故が起こっていないというのが現状ですが、そういう状況においては少なくともこれから先、一番太い道路が変わっていく中でどういうことをやっていかなければならないかを考えていかなければならない。これはインフラ整備の重要な課題の一つだと思います。岡山市や倉敷市で起こっていることがやがて早島で起こる時がくると思っております。悲惨な事故が起こる前に何か手を打つことが必要です。例えば道路をカラフルにしてドライバーが確実にものを捉えられ、止まろうとする区画を設けるとか、あるいは東京等で議論されている都市部のバスの前後の横断歩道の問題を先取りして横断歩道の在り方について早めに手を打つということも一つの施策になるのではないかと思います。

委員

先ほど委員からお話がありましたが、9ページの住まいの部分で前々から言われているとおり早島町は面積が狭いのでできるだけ効率的に活用していく必要があるというのは皆さん共通認識かと思っております。新しい市街地をつくり整備をして永続的に活用いただける住宅地をつくるのは当然重要なことかと思っておりますが、二間川から北の旧市街地では道路が狭くドーナツ化に近い状態が

起こりうるというのは想定されます。そうするとそこが使われないうままになってしまふという可能性も考えれば、道路事情に積極的に手をいれていく視点もいただければありがたいのかと思います。車を運転せずに歩いて暮らせる環境というところでは、町並み保存という観点もあるのですが、住み替え、建物の建て替えも必要に応じて行い、住宅として耐震性もあり、安全安心である必要があります。それと、カーボンニュートラルのお話もあつたかと思いますが、その観点から言いますと住宅の長寿命化によるカーボンニュートラルの達成は非常に重要なことだと思います。世界的には住宅の断熱は進んでいますが、日本ではあまり進んでいないということもあり、そういう視点も考えていただければありがたいのかなと思います。続いて15ページにある住宅の新設着工数の指標については、まさしく委員のおっしゃる通りと思っております、地域を絞ってそれぞれの目標を立てていけばいいかと思っております、新しい住宅地ができるのであれば、住宅の新設着工数は有効な指標かと思いますが、旧市街地では住宅の新設着工数は微妙な指標かと思ひますし、北側の住宅街では建て替えを促進していく必要があるのかという部分も十分に考えて進める必要もあろうかと思ひますので、そういう部分においては住み替えが促進されたかどうかといった指標が大事になってくるのかと思ひますので、もう少し地域を絞ってそれぞれの指標を立てていただければより具体的で有効な指標になるのではないかと思ひます。また、6ページの賃貸住宅が増えているというのがあります。賃貸住宅が増えてそこに住む人が増えるというのは何が問題かというところもあるのですが、持ち家でも一緒ですが、住む場所を失う人がでてきたとき、高齢の方がアパートを立て直しするから出ていくこととなった場合、住む場所がないから早島から出ていかなければいけないというのは非常に残念な話だと思ひます。住み続けられる住宅としての受け皿、住居を失う人がでてきた場合にどこに住んでもらうのかといった視点もぜひいただければありがたいかと思ひました。病気などで突然収入を失って住まいを手放さなければならない人は、なかなか目につかないのですがかなりの数が実際にはいらっしやつて非常に困られているという現実がありますので、そのあたりセーフティネットとして町として何らかの受け皿、体制を整えていくような考えも入れていただければありがたいかと思ひます。

会長

本日も非常に活発なご意見をいただきましてありがとうございます。まだまだ言い足りない点があるとは思ひますが、予定のお時間を過ぎていますので、これで終了とさせていただきます。委員の皆様方におかれましては疑問の点も残っているかと思ひます。後日、事務局にお伝えいただければと思ひます。会長で皆様方のご意見を総括してというところには至らないと思ひますので、また事務局でまとめていただいて、事務局から今日の意見の対応をお伝えいただけたらと思ひます。それに対してもう一度ご意見をいただくというかたちにしたいと思ひます。それでは長時間にわたりまして活発なご意見をありがとうございました。本日の審議会につきましてはこれで終了とさせていただきます。

事務局

本日は長時間にわたりありがとうございました。事務局でなかなかうまくご返答ができず大変申し訳ありませんでした。本日の第5次総合計画骨子案につきましてはたくさんのご意見をいただきました。修正すべき点、わかりやすくする点など修正いたします。会長も言われましたとおり、作業時間をいただきまして、整理整頓しましたら、改めて会を起すのか、また各委員さんを回るのかというのも踏まえまして、会長と相談しながら何らかの形で皆様にお伝えしたいと考えております。これを持ちまして第3回早島町振興計画審議会を終了とさせていただきます。本日は大変ありがとうございました。

以上